

新興国レポート

# ブラジル大統領選挙プレビュー：ボルソナロ氏が優勢に

- 第一回投票を前に大統領選挙戦はボルソナロ氏の優勢に傾く。大統領選挙はボルソナロ氏対ハダジ氏の両極対決に。
- 教育水準と所得水準の高い青年層がボルソナロ氏の主な支持者。弱点とされた女性からの支持率も改善傾向。
- 市場はボルソナロ氏の支持率上昇を好感。決選投票の不透明感は残り、市場は大統領選挙の行方を慎重に注視へ。
- 大統領選挙と同時実施の議会選挙も次期政権の政策の方向性を左右。大統領と議会の関係に注目集まる。

## ブラジル大統領選挙はボルソナロ氏の優勢に傾く

Datafolhaの最新世論調査によれば、極右候補のボルソナロ氏（PSL、下院議員、元陸軍大尉）の支持率が35%へ上昇し、10月7日の第一回投票を目前に控え、大統領選挙戦はボルソナロ氏の優勢に傾きつつあります（図1）。

ボルソナロ氏に続いて、ルーラ元大統領から労働者党（PT）の大統領候補を引き継いだハダジ氏（元サンパウロ市長）が22%と第2位の支持率を維持しています。一方、多数の中道政党からの支援を受けたアルキミン氏（PSDB、元サンパウロ州知事）の支持率は8%と低迷しており、大統領選挙はボルソナロ氏（極右）対ハダジ氏（左派）の両極対決となる公算が高まっています。

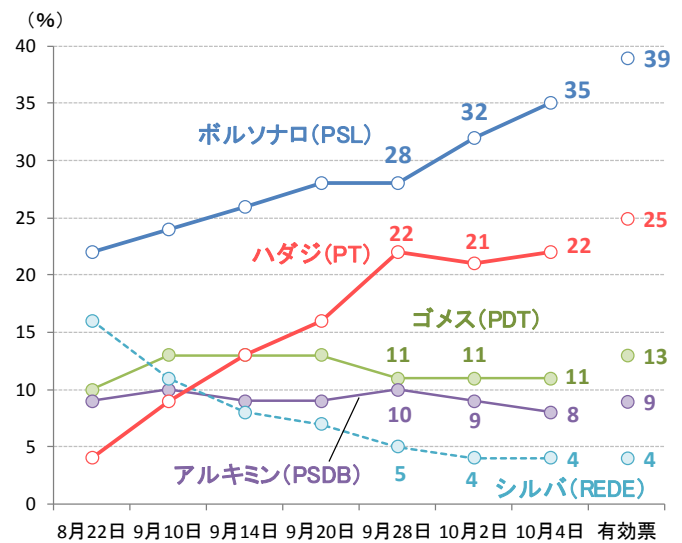
ただし、有効票ベースの支持率では、ボルソナロ氏の支持率は39%と過半数に届いていないことから、大統領選挙は10月28日の決選投票までもつれる可能性が高そうです（第一回投票で有効票の過半数を得る候補がない場合、上位2名による決選投票が実施される）。

## ボルソナロ氏とハダジ氏の支持者には大きな違い

ボルソナロ氏を支持する有権者には、①男性、②30歳台前半までの青年層、③高等教育以上の教育を受けた中所得～高所得層、などの特徴があります（図2）。一方、ハダジ氏の支持者は、過去のPT政権の社会保障政策の恩恵を受けた低所得層が中心となっており、ボルソナロ氏の支持者とは大きな違いがみられます。

ボルソナロ氏は過去の女性への差別的発言や銃規制緩和を容認する姿勢などから、女性からの支持率の低さが弱点とみられてきましたが、足元では女性有権者からの支持率も改善傾向にあります（女性からの支持率は8月22日時点の14%から10月2日時点では27%へ上昇）。

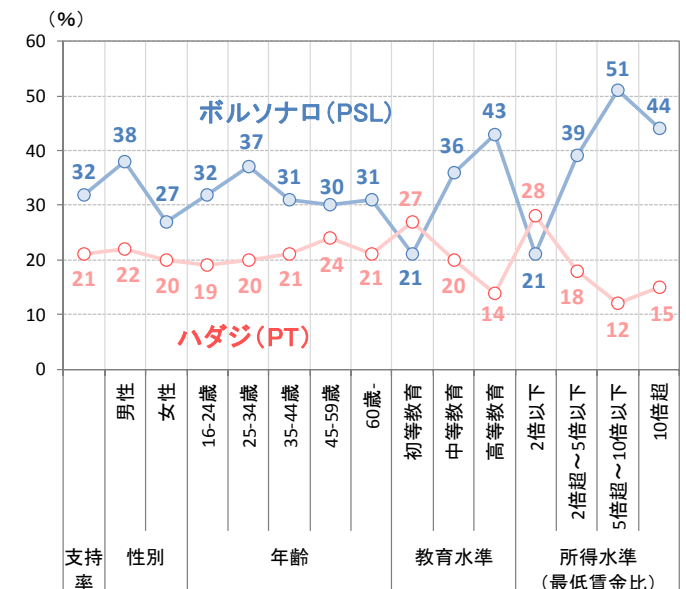
図1：主要大統領候補の支持率



(出所) 世論調査会社Datafolha

(注) 有効票は白票を除いて支持率を再集計したもの（10月4日時点）。

図2：ボルソナロ氏とハダジ氏の支持率（有権者の特性別）



(出所) 世論調査会社Datafolha

(注) 2018年10月2日公表。

### 市場はボルソナロ氏の支持率上昇を概ね好感

ボルソナロ氏の足元の支持率上昇に対して、金融市場は概ね好感している模様です。レアルの対米ドル相場は、9月13日の1米ドル＝4.21レアルから10月4日の3.87レアルへ8.6%のレアル高・米ドル安が進んだほか、主要株価指数のボベスパ指数も83,000ポイント前後の水準へ持ち直しています（図3）。

ボルソナロ氏への市場の評価の背景には、市場寄りの経済政策を提唱する政策顧問パウロ・ゲデス氏（ブラジルで著名なヘッジファンド創業者）の存在があると考えられます。ボルソナロ氏の経済政策の公約には、①現行のブラジル中銀の政策運営の維持や、②財政健全化や税制改革の推進、③積極的な民営化、④緩やかな年金改革の推進、などが含まれています。

【関連レポート】

「[ブラジル大統領選挙の主要候補の経済政策を比較](#)」 [CLICK](#)  
 (8月29日)

### 市場は不透明な大統領選挙の行方を慎重に注視

もっとも、足元のレアルの対米ドル相場は、2016年初近辺（ルセフ元大統領の弾劾運動が高まる直前）と同等の低水準にあり、市場は決選投票に向けて不透明感が残る大統領選挙の行方を慎重に注視しているとみられます。

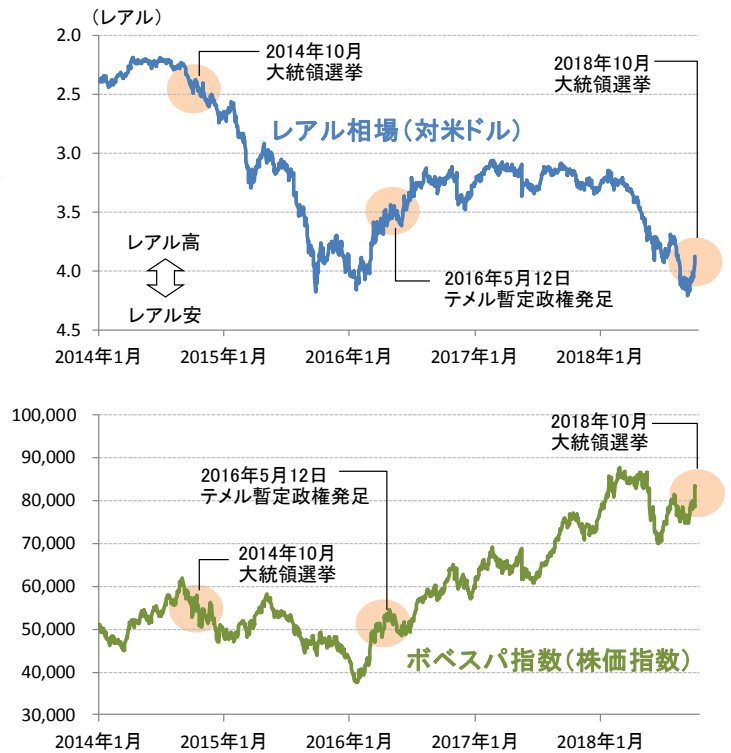
大統領選挙がボルソナロ氏対ハダジ氏の決選投票となった場合の支持率調査では、両者の支持率はなお拮抗状態にあります（図4）。決選投票に向けてどちらの候補が支持率で抜け出すかは、第一回投票で敗れた陣営がどちらの支持に回るかも重要な焦点となりそうです。

### 議会選挙の結果が次期政権の政策の方向を左右

また、今回の大統領選挙を受けて発足する次期政権の政策の方向性は、大統領と議会の交渉によって形作られるため、大統領選挙と同時に実施される議会選挙（上院・下院）の動向にも注目が集まります（図5）。

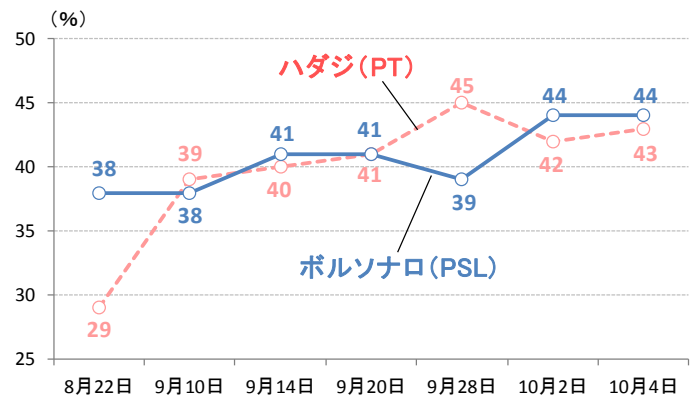
特に年金改革など憲法改正が必要な重要政策の実現には、議会の60%以上の賛成が必要になるため、大統領と議会が良好な関係を築けるか否かが、次期政権の政策実行力を測るポイントと考えられます。

図3：レアル相場とブラジル株の推移



(出所) ブルームバーグ (期間) 2014年1月2日～2018年10月4日

図4：大統領選挙の決選投票での支持率 (ボルソナロ氏対ハダジ氏のシナリオ)



(出所) 世論調査会社Datafolha

図5：今後の大統領選挙のスケジュール

- 10月4日：政見放送の最終日（最後のテレビ討論会を開催）
- 10月7日：第一回投票（大統領、上院・下院議員、州知事、州議会議員を選択する統一選挙）
- 10月12-26日：決選投票に向けた政見放送
- 10月28日：決選投票（大統領・州知事選挙）

(出所) 選挙高等裁判所 (TSE)、各種報道

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>